

「ひきこもり相談の進め方を考える ～支援事例を通して～」

ひきこもり相談の多くは、ご家族の相談から始まり、その後、ご本人に繋がっていきます。仮に、ご本人と繋がることができたとしても、そこから相談を重ね、個人の思いや考えを大切にしながら、ご本人のニーズに合った支援を考えていかなければなりません。

そこで、今回のひきこもり支援対応強化研修（実践編＜支援者向け＞）では、いわゆる「８０５０問題」の事例を通して、ひきこもり相談を進める上で、どのようなことを大切にしていくか、どのような支援が考えられるかを、参加者の皆さんと一緒にグループワークに取り組みながら考えていきたいと思います。

また、当事者やご家族の思いや考えにも触れながら、支援において大切なこと、大事にしたいこと等も検討していきたいと思っています。

多くの方々にご参加いただき、ひきこもりの知識、理解を深めていきたいと考えています。

1. 日時・会場 【南丹・乙訓会場】会場定員50名
令和8年3月3日(火)14時~16時
(亀岡市) ガレリアかめおか 2階 研修室3・4
亀岡市余部町宝久保1-1

- 【丹後会場】会場定員 30 名
令和 8 年 3 月 5 日（木）14 時～16 時
（宮津市）京都府宮津総合庁舎 1 階 第 2 会議室
宮津市字吉原 2586-2

2. 内 容 【グループワーク】
「ひきこもり相談の受け方、進め方」
事例提供：京都府家庭支援総合センター ひきこもり支援担当

- 【まとめ】
○「ひきこもり相談で大切にしたいこと」
京都府家庭支援総合センター ひきこもり支援担当

3. 対 象 市町村職員、ひきこもり支援団体等で実際に支援をされている方、基礎研修を受講しさらに専門的知識の獲得を目指したい方等

※お問い合わせは、京都府家庭支援総合センターひきこもり支援担当まで

※お申し込みは、申込フォームへアクセスまたは電話、メール、裏面の
FAX申込票でお申込みください。

電話 (075) 531-5255 (9時~16時)

メール team-kizuna@pref.kyoto.lg.jp

令和7年度ひきこもり支援対応強化研修（実践編＜支援者向け＞） 参 加 申 込 書

下記の項目を記入し、Faxでお送りください

【締切】南丹・乙訓会場：令和8年2月24日（火）
丹後会場：令和8年2月26日（木）

＜Fax 075-531-9610＞

氏 名	所属機関または お住まいの市町村	職 種	電話番号	参加 希望日

会場案内図

＜南丹・乙訓会場＞



JR亀岡駅（南口）から京阪京都交通バスで約7分（3・34・40・59系統）「ガレリアかめおか」下車
JR亀岡駅（南口）から（亀岡地区）コミュニティバス（西コース）で約10分「ガレリアかめおか」下車
JR亀岡駅（南口）から徒歩約20分

＜丹後会場＞



京都丹後鉄道宮津駅から南へ徒歩5分